

だいじなじいちゃん

地主園 和奏

「なんでくつ下がこんなところにあるの。」

わたしは、じいちゃんにまい日おこられます。おこられるのはわたしだけではありません。わたしは五人きょうだいなので、きょうだいみんなじいちゃんにおこられています。

「しゅくだいしなさい。」

「おふろにはいりなさい。」

「くつをかたづけなさい。」

じいちゃんにおこられない日はありません。じいちゃんに、「なんで、まい日同じことをいわれてるのに、ちゃんとしらないのね。」

といわれても、

「だってめんどくさいんだもん。」

とこたえて、こまったかおをされます。そうこたえながらも、こんなにまい日おこらせてばかりでじいちゃんにわるいなあと思っています。

わたしはじいちゃんがだいすきです。だいすきなところはたくさんあります。そのなかでも、とくにすきなのは、じいちゃんがつくってくれるおにぎりとなまごやきです。かぞくのために、まいあさたくさんのおにぎりとなまごやきをつくってくれます。じいちゃんのおにぎりは、しおあじがきいていて、おいしいです。たまごやきは、ふわふわしてあまくて、おこげもおいしくて、ほったがおちそうです。

「じいちゃん、今日もおいしかったよ。」
と言うと、じいちゃんは、

「ああ、よかった。またつくるね。」
とにつこりしてくれました。

そんなじいちゃんにおんがえしをする日がやってきました。八月二日。じいちゃんの六十七さいのたん生日です。この日はカーナー大会がある日です。

「きょうだいみんながカーナーで一いになったら、じいちゃんへのさいこうのたん生日プレゼントになるよ。」

と、おかあさんがいいました。それを聞いて、わたしもがんばろうと思いました。じいちゃんは、メガホンをもって、みんながびっくりするくらい大きなこえで、

「わかな。ラストだよ。がんばれ。」

とさげびながらおうえんしてくれました。それを聞いて、ラストスパート、がんばるぞとパドルをぎゅつとにぎりしめ、力をこめてこぎました。すると、なんとけっかは一い。そして、きょうだいみんな、一いをとれたのです。

「さいこうのたん生日プレゼントになったよ。」

と、じいちゃんは目になみだをためてうれしそうでした。いつもおこらせてばかりのわたしにだけど、じいちゃんをよろこばせることができて、わたしまで、うれしくなりました。

いつもかぞくのために、がんばつてくれているじいちゃん。ほんとうにありがとう。とうせきにかよいながら、まご五人のめんどうを見てくれているじいちゃんが、大大大すきです。これからもういっしょにたのしくすごそうね。